

鹿本 Design (Yamaga Science Program で身に付けて欲しい6つの力)

自分の未来、地域の未来、そして世界の未来をデザインしよう

組 班  
教室 「                      」

得点 ★は重点目標	Dialogue (対話)	Ethical (倫理)	Scientific (科学的)	Intellectual (知的)	Global (グローバル)	Network (繋がり)	
SSH 9つの目標 該当項目	B「探究スキル」 C「科学的共創力」	B「探究スキル」 C「科学的共創力」	B「科学的分析力」 A「科学的発想力」	B「科学的考察力」 A「科学的発想力」	B「探究スキル」 C「科学的共創力」	B「探究スキル」 C「科学的共創力」	
<b>3点</b>	<b>発表の力③</b> 研究内容を理解し、質疑応答まで適切に対応できる。	<b>★情報の正確性③</b> 文章の欄にも、引用元がその都度明示されている。	<b>★比較・実験の分析結果の妥当性</b> 比較・実験から導き出された結果や考察は妥当である。	<b>★説明の一貫性</b> 研究の仮説・目的と手法、結果、考察に一貫性がある。	<b>国際発表</b> 研究成果を英語で発表することができる。	<b>外部との連携</b> 地域や研究機関と連携して研究を進めることができる。	
<b>2点</b> ここをクリアしていなければ3点にならない	<b>発表の力②</b> 相手の表情を見ながらわかりやすく発表できる。	<b>★情報の正確性②</b> 引用したデータや図・グラフ等に引用元が明示されている。	<b>★比較・実験の妥当性</b> 比較・実験の手法や条件が適切である。	<b>★説明の確実性</b> 説明の根拠となる適切なデータを示すことができる	<b>国内発表</b> 研究の成果を学校外で発表することができる。	<b>外部との対話</b> アンケートやインタビュー等を通し、外部と繋がることのできる。	
<b>1点</b> ここをクリアしていなければ2点にならない	<b>発表の力①</b> 聞き取りやすい声で発表できる。	<b>★情報の正確性①</b> 引用・参考文献の出典が明示されている。 <b>*URLだけのものは不可</b>	<b>★比較・実験の視点</b> 比較・実験を通して分析をしている。	<b>★説明の一般性</b> 形式に沿ったレポート・ポスターを作成できる。	<b>同世代発表</b> 研究の成果を、学校内で発表することができる。	<b>同世代との対話</b> 鹿本高校生と意見交換しながら研究を進めることができる。	
<b>0点</b>	1点がクリアできていない。	1点がクリアできていない。	1点がクリアできていない。	1点がクリアできていない。	1点がクリアできていない。	1点がクリアできていない。	
<b>点数</b>							合計
	点	点	点	点		点	点